

外壁材・面材を自動割付

コンピュータシステム研究所



コンピュータシステム研究所(仙台市、長尾良幸社長)は20日、住宅プレゼンシステム「ALTA(アルタ)」で作成した住宅の3Dプランから、外壁材(サイディング等)及び面材(ボード等)の自動割付が可能な「ALTA 割付オプション」を発売した。今回の新オプションによって、割付処理が簡単・正確・スピーディーに行えるようになり、建材販売店の積算業務の効率化、知識・経験による数量精度の平準化を実現する。

ALTAに割付オプション

この追加オプションは、副資材(胴縁・石膏ボード等の割付がコーキング・各種水切りなど)の入力と割付も行え、実際の施工に近い、正確な数量を算出できる。さらに外壁材(サイディング、出隅材)を割付作成した3Dプランから合板、石膏ボード等の割付が行え、簡単に割付数量を算出できる。また、算出した積算結果を基に、数量一覧表、パーツリスト、加工・板取りリスト等の各種帳票や割付図面の出力が行える。

今回の機能追加によって、アルタで外壁を含む面材すべての割付をすることが可能となり、トータルハウジングへの積算対応が可能になった。

アルタは発売以来、工務店・ビルダー、プ

レカット工場、建材販売店等、多くの建築業者に導入されてきた。CADのように難しい知識を必要とせず、営業が簡単に3Dパーツやプレゼンボード等の分かりやすい提案資料を作成できることから、提案スピードとプレゼン力を向上するソフトとして活用されてきた。

また、作成した3Dプランは、自社の積算根拠や木拾いなどのロス率等を設定した自動積算機能によって、各部分の数量を正確に拾い出し、見積もり作成時間を大幅に短縮することができるとのこと。

今回のオプション機能追加による作業効率の向上で、工務店・ビルダー、レカット工場、建材販売店のみならず、サイディングプレカット工場やパネル製造工場などでの活用も見込まれる。



外壁材及び面材の自動割付が可能で利用拡大が見込まれる

今回のオプション機能追加による作業効率の向上で、工務店・ビルダー、レカット工場、建材販売店のみならず、サイディングプレカット工場やパネル製造工場などでの活用も見込まれる。